VST SOUND INSTRUMENT SET

English

Resonance

Emphasizes the frequencies around the cutoff. At higher resonance settings, the filter self-oscillates and creates a ringing tone.

Drive

Adds distortion to the signal. At higher settings, Drive creates a very intense distortion effect.

Attack

Increases or decreases the attack time of the amplifier envelope. Positive values decrease the attack time.

Decay

Increases or decreases the decay time of the filter envelope. Positive values decrease the decay time.

Amp Section

In the Amp section, the following parameters are available:

Level

Adjusts the level of the program. If you add distortion to the filter by increasing the Drive parameter, you may have to adjust the level to compensate for an increase in gain.

Attack

Increases or decreases the attack time of the amplifier envelope. Positive values decrease the attack time.

Release

Increases or decreases the release time of the amplifier envelope. Positive values decrease the release time.

Stepmodulator Section

Many of the programs of the Hypnotic Dance VST Sound Instrument Set make use of a Stepmodulator to add rhythmic modulations. Up to 32 steps can be defined and edited. The following parameters are available:

Step

Allows you to select a step.

Level

Shows the level of the selected step. The level can be adjusted by entering a value in the text field.

Snap

When Snap is activated, the level of each step can only be adjusted in steps of 1/12.

Steps

Sets the number of steps that the sequence plays.

Presets

Use the pop-up menu at the top right to load and save presets.

- To load a preset, click the Select Preset field and select a preset.
- To delete a preset, click the trash icon.
- To save a new preset, click the floppy disk icon.

Graphical step display

In the graphical step display, you can edit steps using the mouse and/or the computer keyboard.

- Set the level of a step by clicking and dragging in the graphical editor.
- Reset a step to a level of 0% by [Ctrl]/[Command]-clicking the step.
- Reset all steps by [Shift]-[Ctrl]/[Command]-clicking the graphical editor.
- Adjust all steps at once by [Shift]-clicking and dragging a step.
- Draw a ramp of steps by [Alt]/[Option]-clicking and drawing a line.
- Draw symmetric ramps by [Shift]-[Alt]/[Option]-clicking and drawing a line.
- Raise or lower the level of the selected step using the up and down arrow keys.
  By default, this changes the value in steps of 1%. To use steps of 0.1%, instead, hold down [Shift] while using the arrow keys.
- Select the previous or next step using the left and right arrow keys.

Sync

Synchronizes the steps to the tempo of the host application. The following options are available:

Off

No synchronization.

Tempo + Retrig

In this mode, the speed of the modulation depends on the number of steps, the selected note value, and the tempo set in your host application. Whether the sequence restarts when you play a note, depends on the selected retrigger mode.

Tempo + Beat

In this mode, the speed of the modulation depends on the number of steps, the selected note value, and the tempo set in your host application. The sequence restarts with the transport of the host and lines up to the beats of the project.

Frequency

When Sync is set to “Off”, the control to the right is called “Frequency”. Use it to set the speed at which the sequence repeats.

Note

When Sync is set to “Tempo + Retrig” or “Tempo + Beat”, the control to the right is called “Note”. Use it to adjust the length of the steps in note values.

If you activate the T button on the right, triplet note values are used.

Retrig

Determines whether the sequence restarts when you play a note. The Retrig control is only available when Sync mode is set to “Off” or “Tempo + Retrig”. The following parameters are available:

Off

The sequence does not restart. Playback resumes at the position where you released the key.

First Note

The sequence restarts when a note is triggered and no other notes are held.

Each Note

The sequence restarts each time a note is triggered.

Depth

Adjusts the intensity of the modulation. By specifying negative values, you can define an inverted modulation pattern.

⇨ Even for presets that do not use the Stepmodulator, you can add modulation with the Depth control.

⇨ If you are using Hypnotic Dance in HALion or HALion Sonic, make sure that a modulation is set in row 15 of the modulation matrix. This is required for the Depth parameter to work.

Slope

Determines whether the transitions between steps occur as jumps or ramps. The following settings are available:

Off (---)

All transitions occur as jumps.

Rising (////)

Rising transitions occur as ramps, falling transitions as jumps.

Falling (\\\\)

Falling transitions occur as ramps, rising transitions as jumps.

All (/\/\)

All transitions occur as ramps.

Amount

When Slope is set to “Rising”, “Falling”, or “All”, the Amount parameter determines the time it takes to ramp from one step to another. The higher the setting, the smoother the transitions.

日本語

Michael Ruf, Matthias Klag

改訂管理および品質管理 : Cristina Bachmann, Heiko Bischoff, Marion Bröer, Insa Mingers, Sabine Pfeifer, Benjamin Schütte

この PDF マニュアルでは、目の不自由な方のための高度なアクセシビリティ機能を提供しています。このマニュアルは複雑かつ多くの図が使用されているため、図の説明は省略されていることをご了承ください。

本書の記載事項は、Steinberg Media Technologies GmbH 社によって予告なしに変更されることがあり、同社は記載内容に対する責任を負いません。

本書に掲載されている画面は、すべて操作説明のためのもので、実際の画面と異なる場合があります。

本書で取り扱われているソフトウェアは、ライセンス契約に基づいて供与されるもので、ソフトウェアの複製は、ライセンス契約の範囲内でのみ許可されます (バックアップコピー)。

Steinberg Media Technologies GmbH 社の書面による承諾がない限り、目的や形式の如何にかかわらず、本書のいかなる部分も記録、複製、翻訳することは禁じられています。本製品のライセンス所有者は、個人利用目的にかぎり、本書を 1 部複製することができます。

本書に記載されている製品名および会社名は、すべて各社の商標、および登録商標です。

リリース日 : 2012 年 9 月 24 日

© Steinberg Media Technologies GmbH, 2012.

All rights reserved.

目次

22 **はじめに**
22 VST Sound Instrument Set のロード
22 プリセットのロードと保存
23 **プラグインコントロール**
23 プラグイン機能セクション
24 編集画面
24 「Options」ページ
26 パフォーマンスコントロールセクション
27 クイックコントロール
27 トリガーパッド
29 **「Macro」ページのパラメーター**
29 HALion または HALion Sonic でのプログラムの編集
29 パラメーターのオートメーション
30 「VOICE」セクション
30 「FILTER」セクション
31 「AMP」セクション
31 「STEPMODULATOR」セクション

はじめに

Hypnotic Dance VST Sound Instrument Set には、高品質な VST サウンドプリセットが数多く収録されています。これらのプリセットでは、個別に編集できるレイヤーを最大 4 つ組み合わせできます。Steinberg の DAW では、インストゥルメントセットを VST 3 プラグインとしてロードできます。また、HALion、HALion Sonic、および HALion Sonic SE では、インストゥルメントセットをプログラムとしてロードできます。

VST Sound Instrument Set のロード

- **インストゥルメントセットをプラグインとしてロードするには、Steinberg の DAW を起動してインストゥルメントセットに関連付けられたインストゥルメントトラックを作成します。**
- **HALion、HALion Sonic、または HALion Sonic SE にインストゥルメントセットをロードするには、Hypnotic Dance に含まれるいずれかのプリセットをロードします。**

⇨ **VST Sound Instrument Set は Steinberg 以外のアプリケーションにもロードできます。詳細については、それらのアプリケーションのマニュアルを参照してください。**

プリセットのロードと保存

Steinberg の DAW では、「Load」および「Save」ダイアログに MediaBay が表示され、タグなどを使用できます。

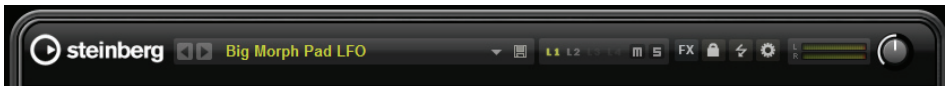
- **プリセットをロードするには、プラグイン機能セクションで名前フィールドをクリックして、ダイアログでプリセットを選択します。**
  ロードされたプリセットは、プリセット名フィールドの左にある左右の矢印ボタンをクリックして、使用できるプリセットの中から選択できるようになります。
- **プリセットを保存するには、プリセット名の右にあるフロッピーディスクアイコンをクリックして、プリセットの名前を入力します。**
  Steinberg 以外の DAW では、あらかじめ定義されたフォルダーまたはそのフォルダーのサブフォルダーにのみプリセットを保存できます。DAW のプリセットマネージャーを使用してプリセットを保存した場合、それらのプリセットは保存した DAW でのみ使用でき、他のホストアプリケーションでは使用できません。

プラグインコントロール

この章では、Hypnotic Dance VST Sound Instrument Set をプラグインとして開いた場合に使用できるセクションについて説明します。

プラグイン機能セクション

プラグインパネル上部のセクションには、現在ロードされているプリセットおよびプラグインの全般的な操作の両方に影響するグローバル機能が含まれています。



プリセットコントロール

左側のプリセットコントロールで、プリセットをロードおよび保存できます。使用できるプリセットの中から選択するには、左右の矢印ボタンを使用します。

レイヤーセレクター

レイヤーセレクターを使用すると、使用できるレイヤー間を切り替えできます。

使用できるレイヤーの数はプリセットによって異なります。レイヤーの数は HALion または HALion Sonic でのみ変更できます。

Solo

選択されているレイヤーをソロにします。

Mute

選択されているレイヤーをミュートします。

Switch Off All Insert FX

エフェクトなしでサウンドを再生します。

Lock FlexPhraser and Trigger Pads

このボタンを有効にすると、別のプリセットをロードした場合にトリガーパッドの現在の設定が上書きされません。

⇨ **一部のプリセットでは、アルペジオやフレーズのプレーヤーである FlexPhraser が使用されます。ロックボタンを有効にすると、これらも合わせてロックされます。**

MIDI Reset

MIDI ノートに対して反応しなくなることがあります。これは、プラグインと MIDI の接続が切れたり、正しくない MIDI コントローラーデータを受信したりすることで起こります。この場合、プラグインを「緊急リセット」できます。

- 「MIDI Reset」ボタン (稲妻のアイコン) をクリックして、「All Sound Off」および「Reset All Controllers」メッセージをプラグインに送ります。
  プラグインはすぐに再生を停止し、コントローラーをデフォルト値にリセットします。

Options

このボタンをクリックすると、編集画面に「Options」ページが表示されます。「Macro」ページのパラメーターに戻るには、ボタンを再度クリックします。

Meter

プラグインの出力レベルを表示します。

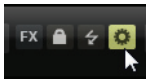
Main Volume

プラグインの出力レベルを調節します。

編集画面

プラグインウィンドウの中央にある編集画面には、インストゥルメントセットのパラメーターを含む「Macro」ページが表示されます。「Macro」ページのパラメーターの詳細については、29 ページの「「Macro」ページのパラメーター」を参照してください。

グローバル機能セクションの「Options」ボタンが有効になっている場合、編集画面には「Options」ページが表示されます。



「Options」ページ

「Options」ページでは、プラグインの動作をコントロールする設定ができます。これらの設定には、特定の VST Sound Instrument Set の 1 つのインスタンスに影響するもの、すべてのインスタンスに影響するもの、あるいはコンピューターにインストールされているすべての VST Sound Instrument Set に影響するものがあります。どの範囲に影響するかは、以下の項で示します。

「Disk Streaming」セクション

⇨ **このセクションの設定は、コンピューターにインストールされているすべての VST Sound Instrument Set プラグインと HALion Sonic SE に影響します。**

特に複数のプラグインインスタンスを使用している場合、プリセットに多くのサンプルの膨大なデータが含まれることがあります。この場合、サンプルは完全には RAM にロードされません。かわりに、各サンプルの最初の数ミリ秒のみがロードされます。再生中、適度な量のサンプルがハードディスクから RAM に継続的にロードされます。追加のノートを発音するたびにハードディスクの負荷が高くなるため、できる限り多くのサンプルを事前に RAM にロードしておくことをおすすめします。これは、他のアプリケーションで使える RAM が少なくなることになります。システムのパフォーマンスを最大にするには、RAM とハードディスクの使用率のバランスを取ります。

ディスクと RAM のバランス

このスライダーを使用すると、ハードディスクと RAM の使用率のバランスを調節できます。この設定はプロジェクトには保存されません。

- **他のアプリケーションに、より多くの RAM を使用する場合、スライダーを「Disk」側にドラッグします。**
- **ハードディスクからのデータの転送速度が遅い場合、スライダーを「RAM」側にドラッグします。**

「Global」セクション

Polyphony

同時に発音できるノートの数を設定します。ポリフォニーを制限することで、求められるパフォーマンスを妥当な範囲で維持できます。

⇨ **この設定は、現在のプラグインインスタンスにのみ影響します。**

Master Tune

「Master Tune」パラメーターは 415.3 ～ 466.2Hz (-100 ～ +100 セント) の範囲で設定できます。

⇨ **この設定は、現在のプラグインインスタンスにのみ影響します。**

Show Tooltips

このオプションを有効にすると、コントロールにマウスポインターを合わせたときにツールチップが表示されます。

⇨ **この設定は、コンピューターにインストールされているすべての VST Sound Instrument Set プラグインと HALion Sonic SE に影響します。**

Show Value Tooltips

このオプションを有効にすると、対応するコントロールを使用したとき、値テキストフィールドがないパラメーターの値がツールチップに示されます。

⇨ **この設定は、コンピューターにインストールされているすべての VST Sound Instrument Set プラグインと HALion Sonic SE に影響します。**

「MIDI Controller」セクション

カスタマイズした MIDI コントローラーの割り当てはデフォルトとして保存できます。または、MIDI コントローラーの割り当てを初期状態に戻すこともできます。

初期状態に戻す

MIDI コントローラーの割り当てを初期設定に戻すには、「Reset to Factory」ボタンをクリックします。

⇨ **この設定は、特定の VST Sound Instrument Set で開かれているすべてのプラグインインスタンスに影響します。**

デフォルトとして保存

MIDI コントローラーの現在の割り当てをデフォルト値に設定するには、「Save as Default」ボタンをクリックします。

これにより、プラグインのインスタンスを新しくロードするたびに、カスタマイズされた MIDI コントローラーの割り当てがデフォルトとしてロードされます。

⇨ **この設定は、特定の VST Sound Instrument Set で開かれているすべてのプラグインインスタンスに影響します。**

⇨ **現在の MIDI コントローラーの割り当てはプロジェクトごとに保存されます。これにより、設定を異なるシステムで使用できます。**

MIDI コントローラーのスムージング

MIDI コントローラーの最大分解能は 128 ステップとかなり低めです。そのため、たとえば MIDI コントローラーを使用してクイックコントロールをリモートコントロールすると、パラメーターがなめらかに変わらない場合があります。これを避けるため、プラグインには MIDI コントローラーのスムージングが用意されています。これにより、パラメーターの不自然な変化を抑えられます。

- **MIDI コントローラーを動かしたときに不自然な響きが発生する場合、コントロールを「Slow」側に回します。**
  この場合、MIDI コントローラーを動かしてから反映されるまで、一定時間の間隔が空きます。
- **MIDI コントローラーを動かしてから反映されるまでの時間を短くするには、コントロールを「Fast」側に回します。**
  この場合、MIDI コントローラーを動かしたときに不自然な響きが発生する可能性があります。

⇨ **この設定は、コンピューターにインストールされているすべての VST Sound Instrument Set プラグインと HALion Sonic SE に影響します。**

FlexPhraser Hold Reset

プリセットで使用されるすべての FlexPhraser モジュールに、グローバル「Hold Reset」メッセージを送信します。「Reset Controller」ポップアップメニューでは、FlexPhraser の「Hold Reset」ボタンに MIDI コントローラーを割り当てできます。これにより、「Hold Reset」ボタンをリモートコントロールできます。

⇨ **この設定は、特定の VST Sound Instrument Set で開かれているすべてのプラグインインスタンスに影響します。**

パフォーマンスコントロールセクション

プラグインパネル下部のパフォーマンスコントロールセクションには、インストゥルメントの演奏に必要なピッチベンド、モジュレーションホイール、バーチャルキーボード、およびスフィアが含まれています。

ホイールコントロール

バーチャルキーボードの左側に、ピッチベンドホイールとモジュレーションホイールがあります。モジュレーションホイールは、MIDI コントロールチェンジ #1 に組み込まれています。

⇨ **MIDI コントロールチェンジ #1 の割り当ては固定です。そのため、モジュレーションホイールに「Learn CC」機能はありません。**

キーボード

バーチャルキーボードは、本物のキーボードと同じように MIDI ノートのトリガーに使用できます。鍵盤の上のさまざまな位置 (手前や奥) をクリックすることにより、ノートのベロシティーをコントロールできます。さらに、キーボードには、キースイッチとして動作するがノートをトリガーするのには使用しないキーが表示されます。キーボードの両側にある「Shift Keyboard」ボタンは、キーボードの音域をオクターブ単位でシフトさせるのに使用します。これを使用して、たとえば、低いキーに位置しているキースイッチを表示できます。

「Sphere H」と「Sphere V」

右側の球体はスフィアです。スフィアは 2 次元のコントロールであり、マウスをスフィア上で縦横にドラッグして、2 種類のクイックコントロールを同時に調整できます。横軸上のクイックコントロールは「Sphere H」といいます。縦軸上のクイックコントロールは「Sphere V」といいます。通常スフィアには、2 種類のパラメーターが一緒に割り当てられます。たとえば、「Cutoff」は「Sphere H」に、「Resonance」は「Sphere V」に割り当てられます。

⇨ **垂直軸と水平軸を示す小さい三角形は、パラメーターが「Sphere H」と「Sphere V」に割り当てられている場合にのみ有効になります。**

Center Horizontal/Center Vertical

スフィアは、自動的に中央位置に戻るように設定できます。これは各軸で個別に設定できます。

設定するには、スフィアのコンテキストメニューで「Center Horizonta」または「Center Vertical」オプションを有効にします。

クイックコントロール

右側の 8 つのポテンショメーターコントロールをクイックコントロールといいます。これらを使用すると、プリセットの最も重要なサウンドパラメーターをリモートコントロールできます。

クイックコントロールの割り当ては、VST Sound Instrument Set では変更できません。割り当ては HALion または HALion Sonic で変更できます。

トリガーパッド

左側のトリガーパッドを使用して、リモートで 1 つのノートまたはコード全体をトリガーできます。多くのプリセットがトリガーパッドを使用します。

- 枠に色が付いたパッドには、1 つのノートまたはコード全体が割り当てられています。
- FlexPhraser バリエーション間でパッドが切り替わると、パッドの上のラインが点灯します。
- マウスでパッドをトリガーするには、目的のパッドをクリックするだけです。

パッドへのトリガーノートの割り当て

MIDI ノートをパッドに割り当てて、その MIDI ノートを発音することで、パッドをトリガーできます。

手順は以下のとおりです。

1. パッドを右クリックします。
2. メニューから「Assign Trigger Note」を選択します。
3. サブメニューから、オクターブおよび割り当てるノートを選択します。

または

1. パッドを右クリックします。
2. コンテキストメニューから「Learn Trigger Note」を選択します。
3. MIDI キーボードでノートを発音するか、またはバーチャルキーボードでノートをクリックします。
   トリガーノートとして割り当てた MIDI ノートの名前が、パッドの左上角に表示されます。

⇨ バーチャルキーボードでは、トリガーノートとして割り当てられているキーが青色で表示されます。これらのキーではそれ以降音が鳴らず、対応するパッドがトリガーされます。

トリガーノートの割り当ての削除

パッドからトリガーノートを削除するには、以下の手順を実行します。

1. パッドを右クリックします。
2. コンテキストメニューから「Forget Trigger Note」を選択します。

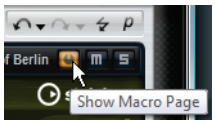
「Macro」ページのパラメーター

Hypnotic Dance VST Sound Instrument Set の「Macro」ページは 4 つのセクションに分かれています。ページの上半分には「VOICE」、「FILTER」、「AMP」セクションが含まれ、下半分には、サウンドにリズミカルなモジュレーションを加えられる「STEPMODULATOR」があります。

HALion または HALion Sonic でのプログラムの編集

HALion および HALion Sonic では、すべてのプログラムに使用できる標準の「Edit」ページでもプログラムパラメーターを編集できます。「Edit」ページには、「Macro」ページより多くのパラメーターがあり、HALion または HALion Sonic で使用できるすべてのサウンド関連パラメーターにアクセスできます。これらのパラメーターの詳細については、該当製品のマニュアルを参照してください。

- HALion Sonic では、「Show Macro Page」ボタンをオフにすると「Edit」ページが開きます。



パラメーターのオートメーション

「VOICE」セクションの「Mono」と「Poly」、および「STEPMODULATOR」セクションの「Step」、「Level」、「Snap」を除き、「Macro」ページのすべてのパラメーターをオートメーション化できます。

「VOICE」セクション

「VOICE」セクションには、以下のパラメーターがあります。

Mono

モノフォニック再生とポリフォニック再生を切り替えます。「Mono」を無効にすると、ポリフォニック再生になります。

Poly

ポリフォニックモードで発音できるノート数の上限 (128 ノート以下) を設定します。

Unison

1 つのノートを発音したとき、複数のボイスをトリガーできます。「Unison」を有効にすると、以下のパラメーターを使用できます。

Detune

各ユニゾンボイスのピッチを、セント単位で微調整します。ボイスのピッチを微調整すると、厚みのあるサウンドになります。

Voices

高い値に設定すると、同時にトリガーされるボイスの数が増えます (最大 8 つ)。

Pan

ステレオパノラマでユニゾンボイスを分散させます。値を高くすればするほど、ステレオイメージが広がります。

「FILTER」セクション

「FILTER」セクションには、以下のパラメーターがあります。

Cutoff

フィルターのカットオフ周波数を調節します。

Res

カットオフ付近の周波数を強調します。この設定を高くすると、フィルターは自己発振し、電話の呼出音のような音になります。

Drive

信号にディストーションを加えます。設定値を高くすると、強いディストーションエフェクトがかかります。

Attack

アンプリファイアーエンベロープのアタックタイムを調節します。正の値に設定すると、アタックタイムが短くなります。

Decay

フィルターエンベロープのディケイタイムを調節します。正の値に設定すると、ディケイタイムが短くなります。

「AMP」セクション

「AMP」セクションには、以下のパラメーターがあります。

Level

プログラムのレベルを調節します。「Drive」パラメーターの値を上げてフィルターにディストーションをかけた場合、ゲインの増加を補正するためにレベルの調節が必要な場合があります。

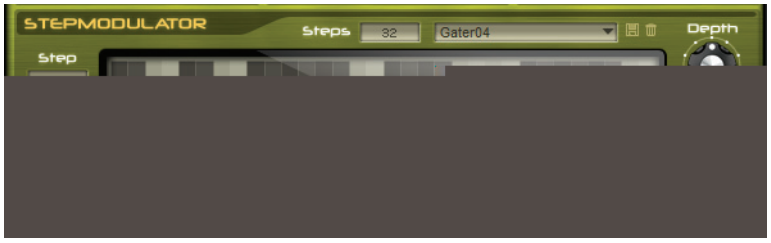
Attack

アンプリファイアーエンベロープのアタックタイムを調節します。正の値に設定すると、アタックタイムが短くなります。

Release

アンプリファイアーエンベロープのリリースタイムを調節します。正の値に設定すると、リリースタイムが短くなります。

「STEPMODULATOR」セクション



Hypnotic Dance VST Sound Instrument Set の多くのプログラムでは、リズミカルなモジュレーションを加えるために STEPMODULATOR を使用します。最大 32 のステップを定義および編集できます。使用できるパラメーターを以下に示します。

Step

ステップを選択します。

Level

選択されているステップのレベルを示します。レベルを調節するには、テキストフィールドに値を入力します。

Snap

「Snap」を有効にすると、それぞれのステップのレベルは 1/12 ずつのステップでのみ調節できます。

Steps

シーケンスで再生するステップ数を設定します。

プリセット

右上にあるポップアップメニューで、プリセットをロードおよび保存できます。

- プリセットをロードするには、「Select Preset」フィールドをクリックして、プリセットを選択します。
- プリセットを削除するには、ごみ箱アイコンをクリックします。
- 新しいプリセットを保存するには、フロッピーディスクアイコンをクリックします。

グラフィカルステップディスプレイ

グラフィカルステップディスプレイでは、マウスまたはコンピューターキーボード (あるいはその両方) を使用して、ステップを編集できます。

- ステップのレベルを設定するには、グラフィカルエディターをクリックしてドラッグします。
- ステップを 0% のレベルにリセットするには、[Ctrl]/[Command] を押しながらそのステップをクリックします。
- [Shift]+[Ctrl]/[Command] を押しながらグラフィカルエディターでクリックすると、すべてのステップがリセットされます。
- すべてのステップを一度に調節するには、[Shift] を押しながらステップをクリックしてドラッグします。
- ステップで傾斜を描くには、[Alt]/[Option] を押しながらクリックしてラインを描きます。
- 左右対称の傾斜を描くには、[Shift]+[Alt]/[Option] を押しながらクリックしてラインを描きます。
- 選択したステップのレベルを変更するには、上下の矢印キーを使用します。
  初期設定では、ステップの値は 1% ずつ変更されます。ステップを 0.1% ずつ変更するには、[Shift] を押したまま矢印キーを使用します。
- 前または次のステップを選択するには、左右の矢印キーを使用します。

Sync

ステップがホストアプリケーションのテンポに同期します。使用できるオプションを以下に示します。

Off

同期しません。

Tempo + Retrig

モジュレーションの速度は、ホストアプリケーションで設定するステップ数、ノート値、およびテンポによって決まります。ノートを発音するときにシーケンスが再開するかどうかは、選択した「Retrigger Mode」によって決まります。

Tempo + Beat

モジュレーションの速度は、ホストアプリケーションで設定するステップ数、ノート値、およびテンポによって決まります。シーケンスはホストのトランスポートで再生を始め、プロジェクトの拍子に合わせます。

Frequency

「Sync」を「Off」に設定すると、右のコントロールが「Frequency」になります。シーケンスが繰り返す速度を設定するにはこれを使用します。

Note

「Sync」を「Tempo + Retrig」または「Tempo + Beat」に設定すると、右のコントロールが「Note」になります。ステップの長さをノート値で調節する場合はこれを使用します。

右の「T」ボタンを有効にすると、3 連符の値を使用できます。

Retrig

ノートを発音するときにシーケンスが再開するかどうかを設定します。「Retrig」コントロールは、「Sync」モードが「Off」または「Tempo + Retrig」に設定されている場合にのみ使用できます。使用できるパラメーターを以下に示します。

Off

シーケンスは再開しません。再生は、キーを離した位置で再開されます。

First Note

ノートがトリガーされてホールドされているノートがない場合、シーケンスが再開します。

Each Note

ノートがトリガーされるたびにシーケンスが再開します。

Depth

モジュレーションの強さを調節します。負の値を指定すると、モジュレーションパターンを反転できます。

⇨ **STEPMODULATOR を使用しないプリセットでも、「Depth」コントロールでモジュレーションを追加できます。**

⇨ **Hypnotic Dance を HALion または HALion Sonic で使用している場合は、モジュレーションマトリックスの 15 行めにモジュレーションを設定するようにしてください。これは、「Depth」パラメーターを有効にするために必要です。**

Slope

ステップ間をジャンプするか、なめらかに移動するかを設定します。使用できる設定を以下に示します。

Off (---)

すべてジャンプして移動します。

Rising (////)

上への移動はなめらかに、下への移動はジャンプします。

Falling (\\\\)

下への移動はなめらかに、上への移動はジャンプします。

All (/\/\)

すべてなめらかに移動します。

Amount

「Slope」を「Rising」、「Falling」、または「All」に設定した場合に 2 つのステップ間のなめらかな移動にかける時間を設定します。設定を高くすると、ステップ間の移動がよりなめらかになります。